

アンケートから 地域の人権課題

- **同和問題**
 - ・近隣で起こった差別文書事件には本当に驚きと憤りを感じます。
 - ・同和問題はまだ解決していないのに「終わった」とする向きもあるようですが、危険ではないでしょうか？
 - ・結婚差別がまだあることを知り合いから聞きました。そんな～まさか！という現実です。

- **男女共同参画**
 - ・DVの問題を若い世代の方々にぜひ学習して欲しいです。
 - ・母子家庭の子どもの厳しい現実を知る機会がありました。女性の賃金の低さ、労働条件の悪さなど経済的にも精神的にも負担が大きいです。

- **高齢者の人権**
 - ・老人の孤独死。周りに誰もいないのではないのでしょうか。
 - ・認知症の母を入院させるようにしています。母にとってどうする事が一番よいのか悩んでいます。
 - ・自身が高齢者で、障害者でもあります。これからのことが不安です。

同和問題

障がい者の人権

外国人の人権

子どもの人権

- ・特別支援学級のお子さんに関わるようになって、彼等の将来の保障は？と考えるようになりました。

- ・障害者施設に勤務していますが、障害者の方の賃金は厳しいものがあります。

- ・周りに外国の方が増えました。

- ・外国人に対するいじめがひどいと聞きました。

- ・日本で結婚して、なかなか日本の生活に馴染めず親子で孤立している方がいるということを知りました。

- ・不登校の子どもに対する温かい支援や障害児に対する世間の温かい目の無さを感じます。

- ・児童虐待が社会問題となって、テレビなどでよく報道されています。大人の心の荒れがとても気になります。

- ・学校関係でのいじめはもっと考えて欲しい。大人のいじめ、子どものいじめ、何年も泣いてる人がいます。

- ・高校受験に落ちた子や引きこもりの若者の受け皿が必要です。

HIV患者とエイズ患者の人権

- ・困っていませんか？
- ・HIVとエイズの違いがよくわかりません。情報不足でしょうか？

人権のまちづくり セーフティーネットワークにむけて

はじめのいっぽ

～気をかけ 声をかけ 手をかける～

やる気のある人にとって今の社会は生きやすい社会かもしれません。しかし、自分に自信が持てずなかなかやる気の出ない人にとっては、いつも自分の弱さを突きつけられる厳しい社会なのかもしれません。

「助けて!」と言える家庭、「わかりません」と言える学校、「しんどいなあ」と言える地域。

セーフティーネットワークは「ああ…困っているね」という共感によって支えられています。そんな他人の悲しみや痛みを共感できる人たちがたくさん住むまちを目指すのが「人権のまちづくり」なのです。

さまざまな差別の解消の実現にむけて
セーフティーネットワーク

セーフティーネットワークとは？
小郡のまちの人権課題を皆さんはどう感じていますか、そして何ができるのでしょうか(アンケートから)